

地域計画

策定年月日	令和 7 年 3 月 12 日
更新年月日	(第 回)
目標年度	令和 16 年度
市町村名 (市町村コード)	久慈市 (03-207)
地域名 (地域内農業集落名)	宇部地区 大渡、小倉、馬寄、長坂、滝の沢、和野、北の越、町、日向、地京沢、田子沢、中田、山屋敷、谷地中、川原屋敷、山田、大沢、久喜、三崎、小袖、小袖沢

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	289 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	196 ha
② 田の面積	94 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	181 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	1.2 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	88.25 ha
(参考)区域内における75才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha
(備考) 区域内の農用地等面積に含まれる遊休農地	10.6ha(R5調査)

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における75才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

- ・高齢化及び後継者不足により、耕作放棄地や自己保全管理地が増加している。
- ・担い手の規模拡大志向や、ほ場の管理に対しての労働力が不足している。
- ・地域によっては、狭小や不整形、分散している農地が多いため、作業効率や農業水利の条件が悪い。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

- ・園芸作物等の高収益作物を導入する。
- ・水田を活用した水稻以外(飼料用米、粳米サイレージ)の作付による耕畜連携を図る。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地等の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
・宇部川地区営農組合を中心に地域農業の振興を図る。 ・農地バンクへの貸付けを進めつつ、担い手(認定農業者、農事組合法人等)への集積・集約化を推進し、団地面積の拡大を図る。			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	27.8	%	将来の目標とする集積率
			35 %
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			
農地中間管理機構の活用により、団地化(集約化)の取組が進められている。今後も引き続き、担い手への農地集積・集約を進め、団地面積の増加を目指す。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
受け手のいない農用地のリスト化に取り組むとともに、担い手を中心に集積・集約化を進め、団地面積の拡大を図る。その際、農地利用最適化推進委員及び農地コーディネーターと調整する。
(2)農地中間管理機構の活用方法
担い手の経営意向を踏まえ段階的に集約化する。その際農地利用最適化推進委員及び農地コーディネーターと調整し、農地所有者の貸付意向時期に配慮する。
(3)基盤整備事業への取組
・農業生産効率の向上や集積・集約化などを図るための基盤整備を推進する。 ・多面的機能支払交付金を活用して、農道や水路等の修繕・更新など農業用施設の長寿命化対策に引き続き取り組む。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
・地域内外から多様な経営体を募り、意向を踏まえながら担い手として育成していくため、市、県及びJAと連携し、相談から定着まで切れ目なく取り組んでいく。 ・担い手が活用できる補助制度、融資制度、共済制度等による支援を行う。
(5)農業協同組合等の農業サービス事業体等への農作業委託の取組
・農作業受託を行う事業体の取組を支援するとともに、農業支援サービスの活用を推進する。 ・サービス活用により農作業の効率化を図り、農業経営を維持できる体制の整備と遊休農地の発生防止を図る。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

☒ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☐ ③スマート農業	☐ ④輸出	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☒ ⑦保全・管理等	☒ ⑧農業用施設	☒ ⑨その他	農福連携
【選択した上記の取組内容】				
①野生鳥獣被害を軽減するため、補助事業等を積極的に活用するとともに、機器の適切な維持管理に努める。あわせて、効果的な追い払い方法等について情報収集に努める。				
⑦中山間地域等直接支払交付金を活用する和野集落協定において、協定参加者相互の連携を図りながら、耕作放棄地の防止、解消に努める。				
⑧水稻、育苗施設及び生産機械等の整備を進める。				
⑨農福連携による労働力の確保と、社会福祉への貢献に取り組む。				

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
	別紙のとおり		ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計			0 ha	0 ha		0 ha	0 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業体(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業体一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目
1	JA久慈営農経済センター	育苗	水稻、園芸野菜

6 目標地図(別添のとおり)

(留意事項)
農業を担う者の氏名等特定の個人が識別される情報が含まれることから、公表する場合やその他施策のために利用する場合等は、本人の同意を得る等個人情報の取扱いに留意してください。
必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。
注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。
注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度: 令和 16 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図 上の表示	備考
利用者		水稻	1.3 ha	ha	水稻	1.3 ha	ha	A	
認農		水稻、きゅうり、大豆他	4.2 ha	ha	水稻、きゅうり、大豆他	4.2 ha	ha	B	
認就		ピーマン、カボチャ他	1.2 ha	ha	ピーマン、カボチャ他	2.4 ha	ha	C	
利用者		水稻	1.3 ha	ha	水稻	2.0 ha	ha	D	
利用者		水稻、露地野菜	1.35 ha	ha	水稻、露地野菜	1.35 ha	ha	E	
利用者		きゅうり	0.4 ha	ha	きゅうり	0.4 ha	ha	F	
認就		ブロッコリー、 きゅうり、ねぎ	5.5 ha	ha	ブロッコリー、 きゅうり、ねぎ	20 ha	ha	G	
利用者		水稻ほか	9.6 ha	ha	水稻ほか	9.6 ha	ha	H	
認農		水稻、トマト	47.0 ha	ha	水稻、トマト	47.0 ha	ha	I	
認農		水稻、ほうれんそう	0.45 ha	ha	水稻、ほうれんそう	ha	ha		
利用者		水稻	0.9 ha	ha	水稻	ha	ha		
利用者		水稻	0.56 ha	ha	水稻	ha	ha		
利用者		水稻	1.27 ha	ha	水稻	ha	ha		
利用者		水稻、ほうれん そう等	0.6 ha	ha	水稻、ほうれん そう等	ha	ha		
認農		水稻、きゅうり	0.45 ha	ha	水稻、きゅうり	ha	ha		
認農		水稻、大豆他	3.17 ha	ha	水稻、大豆他	ha	ha		
利用者		水稻	0.36 ha	ha	水稻	ha	ha		
利用者		ほうれんそう	0.08 ha	ha	ほうれんそう	ha	ha		
利用者		ほうれんそう	0.27 ha	ha	ほうれんそう	ha	ha		
認農		ほうれんそう	0.41 ha	ha	ほうれんそう	ha	ha		
認農		菌床しいたけ	ha	ha	菌床しいたけ	ha	ha		
利用者		ほうれんそう	0.05 ha	ha	ほうれんそう	ha	ha		
利用者		水稻	ha	ha	水稻	ha	ha		
利用者		きゅうり	0 ha	ha	きゅうり	ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	0経営体		80.42 ha	0 ha		88.25 ha	0 ha		